

サーボ型速度計 VSE-355G3

株式会社 東京測振

〒123-0783 東京都足立区扇 3-14-34
TEL 03-3855-5911 FAX 03-3855-5921
URL <http://www.to-soku.co.jp>

強震まで計測できる広帯域速度計

最大 2m/s & 20m/s² (2000Gal)

ダイナミックレンジ 146dB

0.008Hz ~ 70Hz



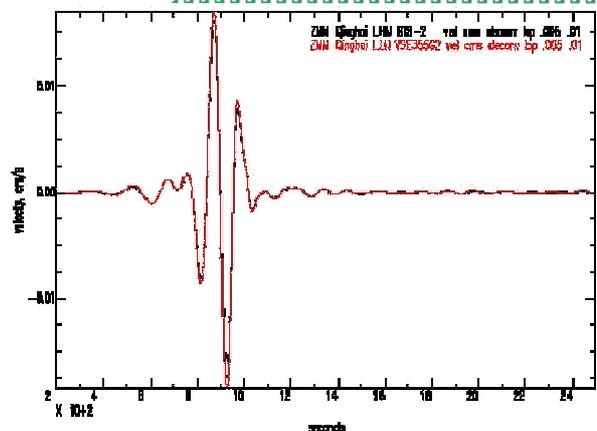
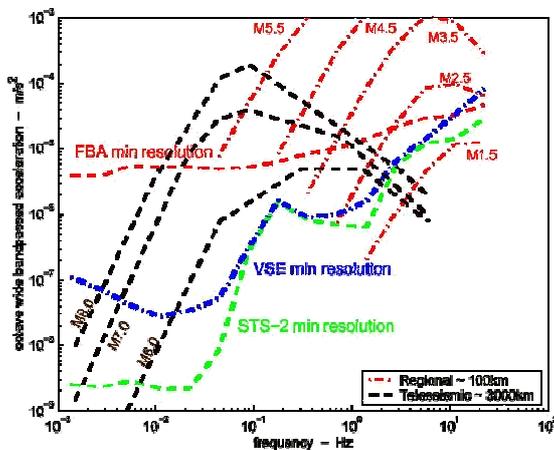
3成分内蔵速度検出器
VSE-355G3

無停電付電源ユニット
PF-610



STS-2 との性能比較

	STS-2	VSE-355G3
最大測定速度	0.014m/s	2m/s
測定範囲	0.008~10Hz	0.008~70Hz
ダイナミックレンジ	146dB	146dB



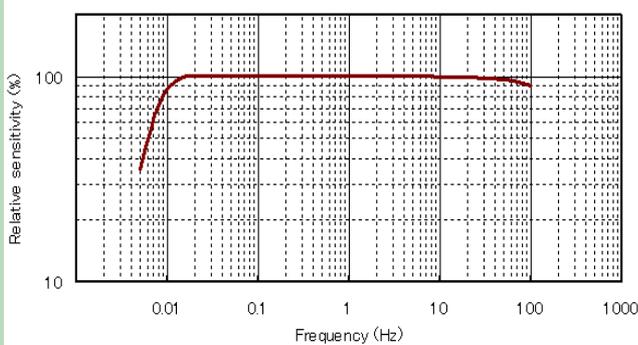
- The data are extracted from "Performance of the VSE-355G2 Strong Motion Velocity Seismometer Report to the IRIS-GSN Sub-Committee". Clinton, J.F. and Heaton, T.H., Caltech, 2002"
- VSE-355G3 is revised model of VSE-355G2.

3成分サーボ型速度計 VSE-355G3

型式	VSE-355G3(地上型)	消費電流	約 150mA
形状	地上設置型	横感度	0.5%
測定周波数範囲	0.008~70Hz	感度温度係数	0.01%/°C
測定成分	水平×2、上下×1	零点変動の温度係数	0.05%/°C
最大測定範囲	±2m/s(±20m/s ² の範囲内) (±200kine(±2000Galの範囲内))	アレスター	定格電圧 30V, 衝撃波電流耐量 5kV、100A
感度	10V/m/s(5V/m/s×2) (100mV/kine(50mV/kine×2))		
最大出力電圧	±20V(平衡出力において)	使用温度範囲	-10°C~50°C
直線性	フルスケールの0.03%	接続ケーブル	20芯シールドケーブル
分解能	約 1mA/m/s ² (約 10μGal)	許容最大加速度	30G(0.1Sec 以内)
検定コイル	・感度: 1.5mA/m/s ² (15μA/Gal) ・コイル抵抗: 500Ω(±20%)	外形寸法	地上型 330×330×243.1
供給電圧	±15VDC	完全気密構造	耐水圧 1kg/cm ² (地上型)

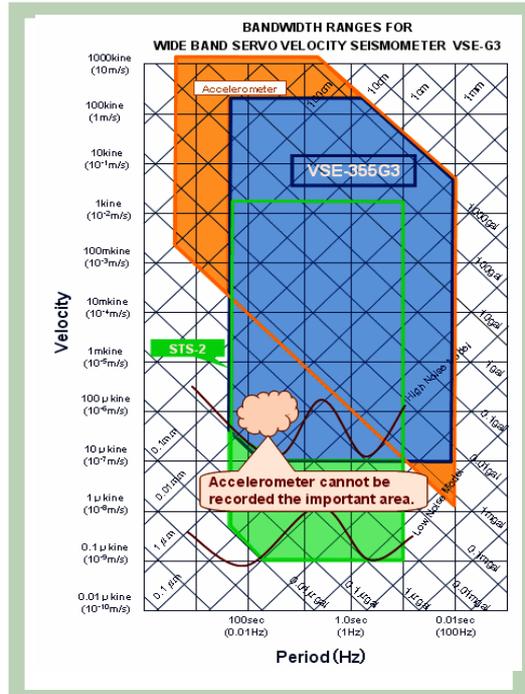
周波数特性

長周期側の周波数特性は STS-2 と同じ。
短周期側は VSE が 10 倍広い。



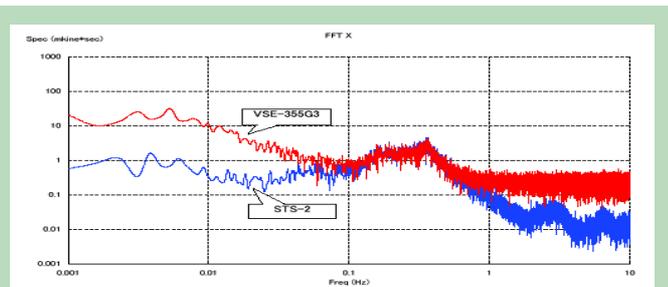
計測範囲

速度計は加速度タイプの強震計では計測できない領域まで計測できる。



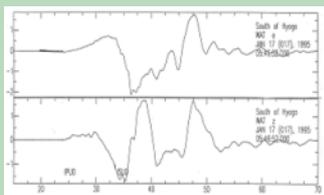
ノイズスペクトルの比較

STS-2 とのノイズ比較。長周期側では計測範囲の広い分、VSE のノイズは大きい。

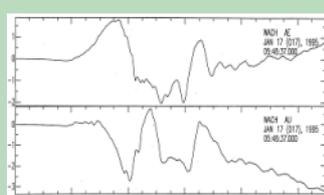


変位波形への変換

下の波形は 1995.1.17 阪神淡路大震災の際、同一地点に設置された加速度計と VSE 速度計のデータを変位に変換したものである。右側の加速度から求めた変位は異常な結果となっている。

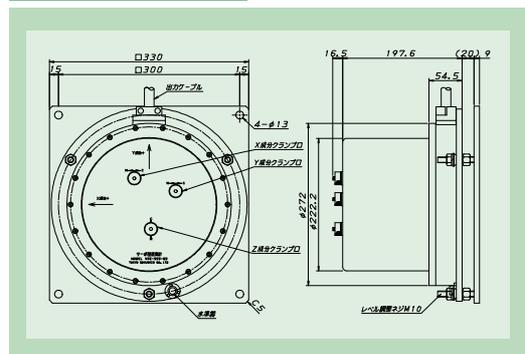


VSE から求めた変位



加速度計から求めた変位

外形寸法



製品改良のため、仕様および外観を予告なく変更する場合があります。